



WHAT'S NEW

発行 新渡戸文化学園
新渡戸文化短期大学

※ホームページに掲載しています。

生活学科の新生オリエンテーションでウェルカムランチ

昨年に引き続き食物栄養専攻・児童生活専攻とも定員以上の応募があり、食物栄養専攻1.5倍、児童生活専攻1.2倍の倍率を突破した新生を迎えることができました。

入学式の翌日より3日間実施されるオリエンテーションの初日の昼食として、ピュッフェ形式のウェルカムランチを第2カフェテリアにて行いました。



学園の給食部の皆さんにより真心込めて作られた料理や色鮮やかなデザートに新生の口から、思わず感嘆の声がもれていました。食事し始めの頃は、昼食のあとに健康診断(体重測定有)が控えていることもあり、少し控えめにしておこうと話していた新生たちも、箸が進むにつれて我慢できず結局お腹いっぱいになるまで食べていました。食事を終えた新生たちは、「おいしかった」「お腹いっぱい」という声を残し、健康診断会場へと移動していきました。



保育実習室がリニューアルオープン

児童生活専攻がスタートして今年で10年目。その節目の年に、保育実習室をリニューアルし機能性が高まりました。合わせて、児童生活専攻では、専門性の高い保育者養成を目指し新たに専攻科においてコース制を導入しました。学生各自が選択したコースにおいて専門性を磨き、大きく羽ばたいていってくれることを願っています。

今後は、おもちゃの展示コーナーを設置する予定です。どうぞ楽しみに。



生活学科の新任教員を紹介します



加藤 久宜 (理化学研究室)

これまでの医薬品や健康食品の研究・開発などの経験から、健康を維持するため食事の大切さを学ぶことができました。担当させていただく科目等を通じて、一人でも多くの学生の役に立つように努力したいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

米原 洋子 (栄養指導研究室)

私は栄養士として病院、区の教育委員会、保健所等に勤務し、“食”を通じてたくさんの方々と関わり学ぶ事が出来ました。今年からは、伝統ある学園でたくさんの方々に教えてもらったことを、少しでも皆に伝えていけたらと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



善本 眞弓 (こども学研究室)

保育所・幼稚園に保育者として勤務後、大学・大学院にて児童学を学びました。長期入院児の遊び支援、子育て支援、玩具に関する活動をしています。子どもたちの笑顔のために尽くせるあたたかい保育者・社会人の育成に力を注ぎたいと思います。よろしくお願い致します。

白幡 梓 (食物栄養専攻)

2013年3月に本学生活学科食物栄養専攻を卒業しました。まだまだまだまだ不慣れなことがたくさんありますが、少しでも皆さんの力になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

